

教科	英語	科目	英語表現Ⅱ	学年	2	単位数	2
類型	共通 ・ 文系 ・ 理系		履修規程	必修 ・ 選択			
学習の到達目標			使用する主な教材				
英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見を多様な観点から考察し論理の展開や表現方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。具体的には ・与えられた条件に合わせて即興で話す・聞いたり読んだりしたことを、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えを発表する などの活動を行う。			Vision Quest English Expression Ⅱ (啓林館) Vision Quest English Expression Ⅱワークブック【Hope】 (啓林館)				
期	月	配当時間	学習内容	学習の具体的内容とねらい			
第一 学期	4	9	<ul style="list-style-type: none"> Lesson 1 主語を決める① Lesson 2 主語を決める② 	<ul style="list-style-type: none"> 主語の決定／見ない主語の発見／主語のit 主語になる名詞句／形式主語／無生物主語 英文解釈, 英作文を作る上で、主語は重要な要素である。主語を意識することで、英語力の向上を図る。			
	5	1	中間考査				
	6	10	<ul style="list-style-type: none"> Lesson 3 動詞を決める① Lesson 4 動詞を決める② Lesson 5 動詞を決める③ 	<ul style="list-style-type: none"> 自動詞と他動詞の区別／群動詞 SVO/SVOO SVC/SVOC 英文の基礎を押さえ、意見をまとめる力を養成する。			
		1	期末考査				
	7	3	・一学期の復習	・Lesson 1～5の応用問題に取り組み、入試レベルまで実力を引き上げる。			
第二 学期	8	2	・Lesson 6 動詞を決める④	・使役動詞、知覚動詞の定着を図る。入試でもよく狙われる項目であるが、生徒の理解度は低いので、演習問題に取り組み、実力の養成する。			
	9	12	<ul style="list-style-type: none"> Lesson 6 動詞を決める④ Lesson 7 動詞を決める⑤ 時制の一致 	<ul style="list-style-type: none"> 直接話法と間接話法の違いを理解する。 話法の転換を図ることができる。 時制を意識しながら、英文を読むことができる。 話法の転換、時制の一致という英語独特の感覚に慣れさせる。			
		10	1	中間考査			
	11	6	<ul style="list-style-type: none"> Lesson 8 動詞の形を決める① Lesson 9 動詞の形を決める② Lesson10 動詞の形を決める③ 	<ul style="list-style-type: none"> 時制に注意しながら、英文を作ることができる。 態に注意しながら、英文を作ることができる。 主語と動詞の関係を意識させる。			
		1	期末考査				
	12	4	・Lesson11 動詞の形を決める④	・仮定法の確認。 慣用表現を確認しながら、定着を図ると共に、演習問題を通じ、実力を養成する。			
第三 学期	1	7	<ul style="list-style-type: none"> Lesson12 助動詞を使う Lesson13 修飾語を加える① Lesson14 修飾語を加える② 	<ul style="list-style-type: none"> 助動詞の確認。 数量を表す表現、名詞を前から修飾する語句 名詞を後ろから修飾する表現 			
	2	7	<ul style="list-style-type: none"> Lesson15 修飾語を加える③ Lesson16 修飾語を加える④ Lesson17 修飾語を加える⑤ 	<ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞、関係副詞を用いた名詞の修飾 副詞、副詞句、不定詞、分詞を使った副詞句の表現 時、条件、譲歩を表す副詞節 			
		1	学年末考査				
	3	2	・三学期の復習	・Lesson 12～17の応用問題に取り組み、入試レベルまで実力を引き上げる。			
評価の方法		<ul style="list-style-type: none"> 小テストを行い、各項目の定着を図る。 各文法項目を用い、簡単な英作文が書けるようになる。 					